

科目名	仏教史（インド）					単位	2.0
担当教員	福田 琢						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	4320

●授業のテーマ
インド仏教の歴史

●到達目標
インド仏教の誕生から大乘仏教興隆までの流れを、背景となったインドの歴史的展開とのかかわりの上で理解する。

●学習内容(授業概要)
 仏教が、その発祥の地であるインドにおいてどのような展開をみせたか、その過程を歴史的な流れに沿って概観する。ゴータマ・ブッダという思想家はどのような歴史的要請に応じて登場したか、彼の滅後、僧団（サンガ）はなぜ・分裂したか、そして大乘仏教はどこから興ったか、という問題を、背景となるインドおよび周辺諸地域の歴史・社会・文化との関わりに留意しながら考察する。
 評価・採点は、授業中に行う小テスト（もしくは小レポート）の得点に出席状況を加味する。

●学習内容(授業計画)
 <<後期>>

1. インド仏教史研究の問題点
2. 古代インドの社会と宗教
3. ゴータマ・ブッダの歴史の実像
4. 結集と分裂
5. マウリヤ朝とアショーカ王
6. インド・ギリシア王朝と仏教
7. シャカ・パフラヴァ時代からクシャーナ朝へ
8. カニシカ王とゾロアスター教
9. 造形表現と大乘仏教
10. ヒンドウイズムの展開と大乘仏教
11. シャータヴァーハナ王朝と南インドの仏教
12. グプタ王朝と仏典の発展
13. パーラ王朝と密教の隆盛
14. イスラム教と仏教の衰退
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容
 準備学習よりも事後の復習が重要。授業中に扱った項目に関して、ノートを整理し、内容を確認しておくこと。不明な点については翌週質問を受けつける。

●成績評価方法・基準
 出席（3割）と授業中に行なう小テストもしくはレポート（7割）で評価する。

●テキスト（必携）

授業時に指示

●参考文献／その他

授業時に指示

●履修上の注意

授業時間中に行なう小テストの実施にあたっては、自筆ノートの持ち込みを許可するので、各自講義の内容をノートにまとめて準備しておくこと。